

琉球大学学術リポジトリ

西表島産のニンジャベンケイガニ (ベンケイガニ科) の標本について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2021-06-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 前之園, 唯史, 石田, 憲, 佐伯, 智史, Maenosono, Tadafumi, Ishida, Akira, Saeki, Toshifumi メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24564/0002011587

西表島産のニンジャベンケイガニ (ベンケイガニ科) の標本について

前之園唯史^{1,4}・石田憲²・佐伯智史³¹ 〒901-2111 沖縄県浦添市経塚 1-4-5 102 株式会社かんきょう社² 〒903-0105 沖縄県中頭郡西原町字東崎 4-4 株式会社南西環境研究所³ 〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山 2-13-14 203 Rivus⁴ 通信著者 (maenosono@kankyo-sha.co.jp)

記録

ベンケイガニ科のニンジャベンケイガニ *Shinobium trapezoideum* (H. Milne Edwards, 1837) は、インド洋東部からフランス領ポリネシアまでの熱帯・亜熱帯域に広く分布し (Naruse & Ng 2020), 日本国内における生息地は沖縄島、石垣島および西表島とされている (豊田・関 2019). このうち沖縄島と石垣島は標本に基づいた記録であるが (前之園・成瀬 2016; 村田 2017; Naruse & Ng 2020), 西表島については前之園 (2017) が「未発表」とした情報に限られ、標本や写真など客観性のある根拠は示されていない. 本稿では、西表島から採集されたニンジャベンケイガニの標本を報告し、同島からの記録の根拠とした. なお、前之園 (2017) による情報は、この標本に基づく観察事例である.

本稿で報告した標本は、エタノール液浸標本として琉球大学博物館 (風樹館) (RUMF:

Ryukyu University Museum, Fujukan) に収蔵されている. なお、保全上の観点から具体的な河川名は省略した.

***Shinobium* Naruse & Ng, 2020**

ニンジャベンケイガニ属 (新称)

***Shinobium trapezoideum* (H. Milne Edwards, 1837)**

ニンジャベンケイガニ

(図 1)

採集標本・RUMF-ZC-5564, 1 雌 (甲長 24.3 mm, 甲幅 23.1 mm), 西表島の河川, 2015 年 8 月 15 日, 前之園唯史・佐伯智史・石田憲採集.

確認状況. 標本の個体は夜間に発見・採集された. 確認環境は、河川の感潮域上端から約 50 m 上流の淡水の早瀬区間であり、この個体は急流が当たる石と石の隙間に潜んでいた.

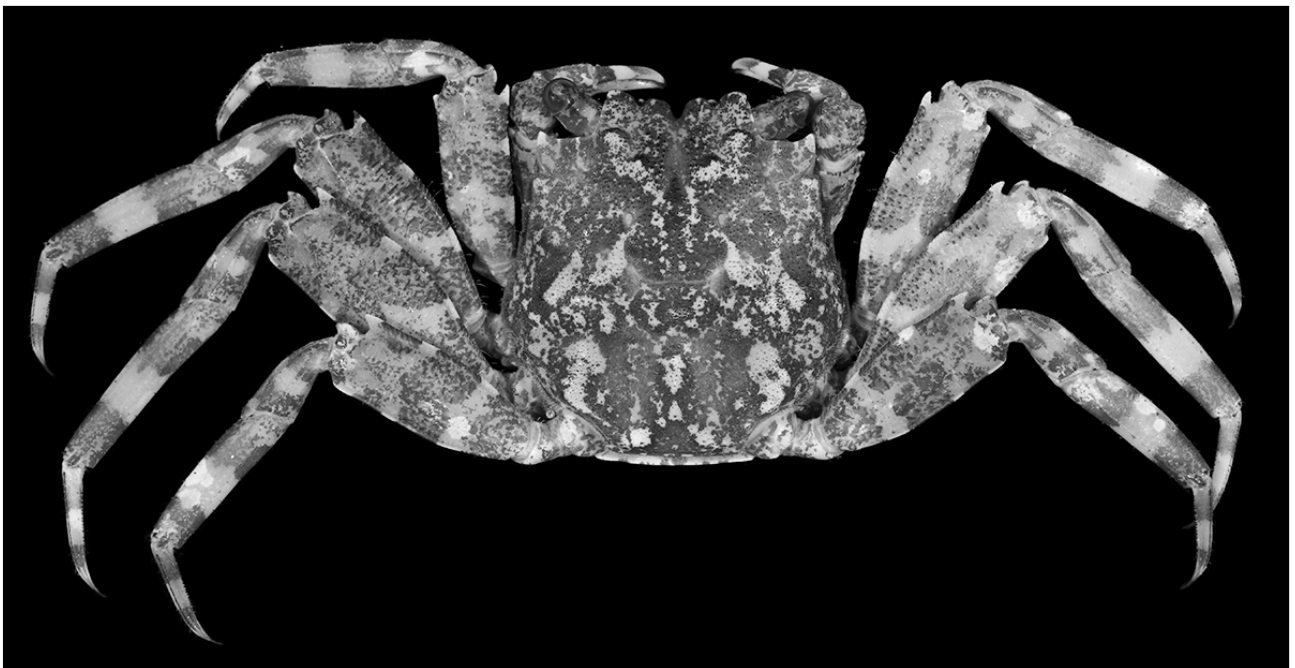


図 1. 西表島産のニンジャベンケイガニ. RUMF-ZC-5564, 雌, 甲長 24.3 mm, 甲幅 23.1 mm.

Fig. 1. *Shinobium trapezoideum* (H. Milne Edwards, 1837) from Iriomote-jima Island. RUMF-ZC-5564, female, carapace length 24.3 mm, carapace width 23.1 mm.

謝辞

投稿日：2021 年 1 月 30 日
受理日：2021 年 3 月 3 日
発行日：2021 年 6 月 9 日

琉球大学熱帯生物圏研究センターの成瀬貫氏には、標本の登録・収蔵の際にご協力いただいた。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

引用文献

- 前之園唯史, 2017. ニンジャベンケイガニ. 沖縄県環境部自然保護課 (編), 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第3版 (動物編) —レッドデータおきなわ—. Pp. 351–352, 沖縄県環境部自然保護課, 那覇市.
- 前之園唯史・成瀬貫, 2016. 石垣島より採集された日本初記録のベンケイガニ科 (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目) の2種. *Fauna Ryukyuana*, 28: 5–22.
- 村田尚史, 2017. ニンジャベンケイガニの沖縄島からの初記録. *Fauna Ryukyuana*, 37: 11–13.
- Naruse, T. & P.K.L. Ng, 2020. Revision of the sesarmid crab genera *Labuanium* Serène and Soh, 1970, *Scandarma* Schubart, Liu and Cuesta, 2003 and *Namlacium* Serène and Soh, 1970 (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Sesarmidae), with descriptions of four new genera and two new species. *Journal of Natural History*, 54 (7–8): 445–532.
- 豊田幸詞・関慎太郎, 2019. 日本産 淡水性・汽水性エビ・カニ図鑑. 緑書房, 東京.

Note on a voucher specimen of *Shinobium trapezoideum* (H. Milne Edwards, 1837) (Sesarmidae) from Iriomote-jima Island, Ryukyu Archipelago, Japan

Tadafumi Maenosono^{1, 4}, Akira Ishida² & Toshifumi Saeki³

¹Kankyosha, 1-4-5 102 Kyozyuka, Urasoe, Okinawa 901-2111, Japan

²Nansei Environmental Laboratory, 4-4 Agarizaki, Nishihara, Okinawa 903-0105, Japan

³Rivus, 2-13-14 203 Oyama, Ginowan, Okinawa 901-2223, Japan

⁴Corresponding author (maenosono@kankyo-sha.co.jp)

Abstract. The record of *Shinobium trapezoideum* from Iriomote Island was previously based only on unpublished information. The presence of a voucher specimen with previously unpublished information, deposited in the Ryukyu University Museum, Fujukan (RUMF), is here documented.